

高田松原津波復興祈念公園 基本設計策定に向けた検討が進んでいます

都市計画課

陸前高田市高田松原地区を対象に整備を計画している復興祈念公園について、県では、復興庁、東北地方整備局及び陸前高田市と連携して基本構想・基本計画を検討してきました。

公園の具体的な基本設計等を検討するため、平成27年8月に、学識経験者等で構成する有識者委員会を設置しました。平成28年3月29日に開催した第2回有識者委員会では、今後のスケジュールと検討体制、これまでの検討状況及び国営追悼・祈念施設(仮称)の基本設計案等を報告しました。

今後、今年9月を目途に、復興祈念公園全体の基本設計をまとめることとしております。

○ 高田松原津波復興祈念公園とは

東日本大震災津波が、広域にわたり甚大な被害が生じた未曾有の大災害であることに鑑み、「復興の象徴」として、犠牲者への追悼と鎮魂や、日本の再生に向けた復興への強い意志を国内外に向けて明確に示すこと等を目的とするものです。

国、岩手県、陸前高田市の連携により整備を予定しています。



国営追悼・祈念施設(仮称)及び周辺区域の鳥瞰イメージ

○ 高田松原津波復興祈念公園の計画区域

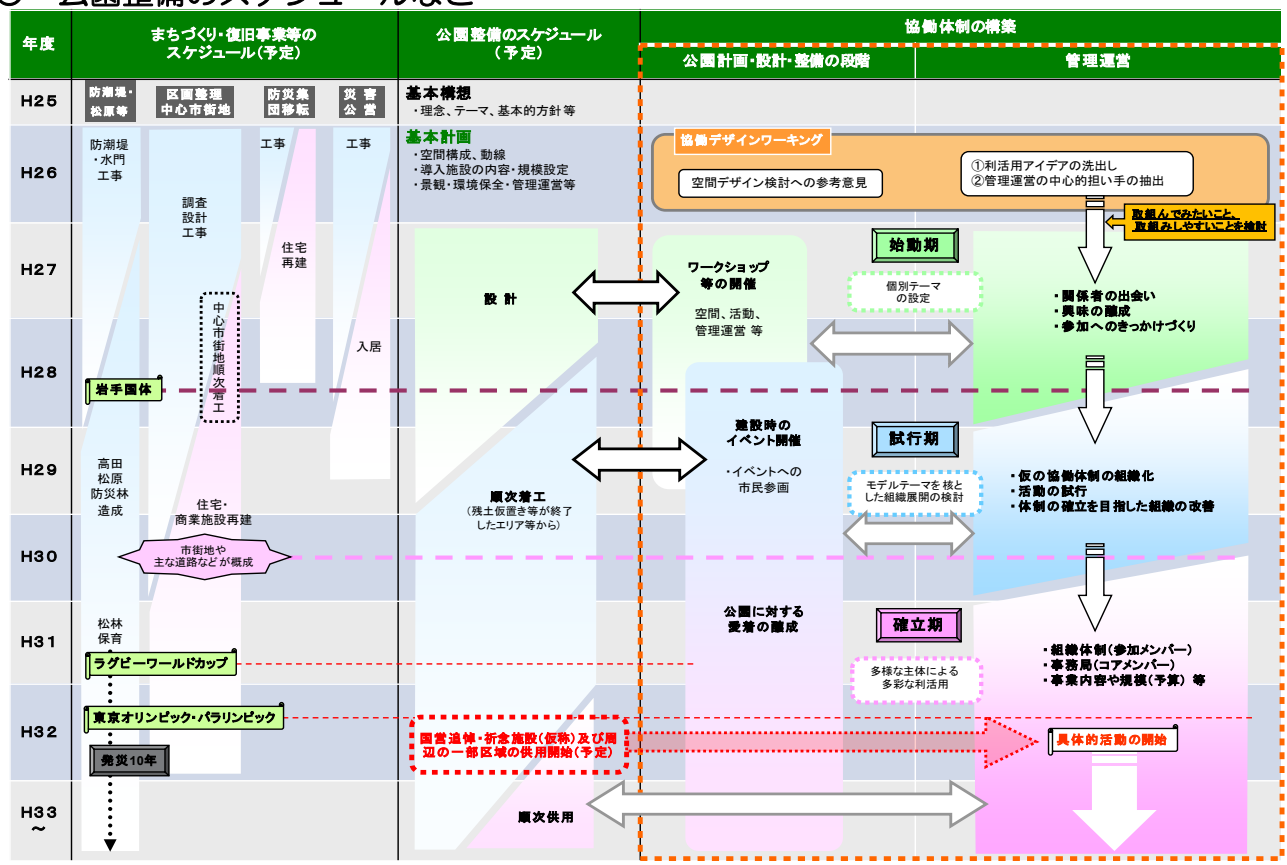
計画区域は約 130ha で、この中には、国が整備する「国営追悼・祈念施設(仮称)」に加え、陸前高田市の総合公園として供用されていた「高田松原公園」の機能を再生する区域も含まれます。

2020年度(平成32年度)に、「国営追悼・祈念施設(仮称)」及び周辺の一部区域を供用開始し、その後、順次、残りの区域を供用していく予定です。



高田松原津波復興祈念公園の計画区域

○ 公園整備のスケジュールなど



【参考】高田松原津波復興祈念公園有識者委員会について

国、県及び陸前高田市では、平成27年8月に東京工業大学大学院社会理工学研究科教授の中井検裕委員長をはじめとする学識経験者等で構成する委員会を設置し、復興祈念公園の計画・設計の検討を行うこととしています。

※高田松原津波復興祈念公園については県のホームページでもご覧頂けます。
<http://www.pref.iwate.jp/toshigesui/kouen/index.html>